

新むつ小川原株式会社 第1回経営諮問会議

議 事 次 第

日 時:平成13年5月23日(水)15時～16時30分

場 所:経団連会館 富士の間(8階)

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 今井座長ご挨拶
4. 議事
 - (1) 12年度経営概況について
 - (2) 13年度事業見通しについて
 - (3) その他
5. 質疑及び応答
6. 閉会

(出席委員等名簿)

座 長	今 井 敬 (経済団体連合会会長)
座長代理	伊 藤 善 市 (東京女子大学名誉教授)
委 員	梅 内 敏 浩 (青森県商工会議所連合会会長)
	(欠)小 野 邦 久 (国土交通事務次官)
	〈代理出席〉小 峰 隆 夫 (国土交通省 国土計画局長)
	木 村 守 男 (青森県知事)
	(欠)大道寺小三郎 (青森経済同友会代表幹事)
	橋 本 寿 (六ヶ所村村長)
	小 村 武 (日本政策投資銀行総裁)
	(欠)渡 邊 利 雄 (青森大学名誉教授)

(経済団体連合会)

(新むつ小川原株式会社)

事務総長

代表取締役社長

取締役東京本部長

取締役青森本部長

常勤監査役

内 田 公 三

永 松 恵 一

石 森 亮

佐々木権四郎

明 石 守 正

平成 13 年 5 月 23 日

第1回 経営諮問会議 報告

新むつ小川原株式会社
代表取締役社長 永松恵一

当社は、会社の自立性、透明性を図る観点から、経営諮問会議を設置して、会社の経営方針、経営状況、その他業務執行に係る重要事項について評価・助言をいただくこととしております。

この度、第1回の経営諮問会議が5月23日(水)午後3時から4時過ぎまで経団連会館8階富士の間で開催されました。

その中では、平成12年度の決算見込みと平成13年度事業見通し等について当社から以下のとおり報告しました。

1. 平成12年度の分譲は約11haで1,471百万円の売上を計上できる見込みであり、賃貸収入等55百万を加えた総収入は1,527百万円となる見込みであります。営業利益は約1億円程度の黒字となる見込みです。昨年8月4日に設立された新会社の経営は概ね順調な立ち上がりとなりました。
2. また、13年度については約780百万円程度の売上を見込んでいますが、従業員宿舍用地の引き合い等もあることから、さらに売上増が期待できます。
3. なお、平成13年度に株主還元を「有償減資」という形で実施する方針であります。

これに対して、経営諮問会議委員の方々から以下のとおり評価・助言を受けましたのでお知らせします。

1. 平成12年度の決算見通しについては、良い立ち上がりと評価でき、関係者に敬意を表したい。
「有償減資」についても、当社に対する信用・評価を高めることにもなるので、実施することに賛成である。
2. 青森県(地元)自らが、むつ小川原工業地域の中に、クリスタルバレイ構想を打ち出し、自立を目指しているのは、非常に喜ばしい。

3. むつ小川原工業地域は、平成 14 年には八戸まで新幹線が開通し、港、空港、道路などその他のインフラについても、今後さらなる整備が期待でき将来展望の面から有望である。
4. 現在のむつ小川原は、石油備蓄、原燃サイクル施設、尾駈レイクタウン、トヨタ花の工場、エーアイエス液晶工場等と開発が大いに進み、昔と比べ様変わりである。このことをもっと多くの人に知らせる活動が必要である。
5. 青森県知事から、ITER(国際熱核融合実験炉)の誘致活動の紹介と誘致についての強い決意が示された。
6. 誘致企業の従業員のための住環境整備について、村の行政面からバックアップしていきたい。
7. 工業地域内の 72 社による立地企業連絡会(5 月 15 日)発足は、時宜にかなったことであり、今後工業地域内部の企業ばかりではなく範囲を周辺にまで広げてはどうか。

以上